

★「高企連携」News & Topics

北海道	現場の「ナマ」の再重視 etc. 2
東北	ものづくりのプロ育成 etc. 3
関東・首都圏	オープン・カンパニー etc. 4
東海・北陸	サクラサク・プラン etc. 5
近畿・中国・四国	ガス内管工事業 etc. 6
九州・沖縄	STEAM教育 etc. 7
グローバル	韓国レポート vol.10 8

「キャリア&就職支援ジャーナル[高等学校版]」は高校の先生方と民間企業・行政機関、および大学・短期大学・専門学校等を結びつけるフリーペーパーです。Career & Job-hunting-activities Times for High School Teachers [通巻第79号]

17～19歳の若者が抱く「就職・仕事観」。「安定志向」がより鮮明に

「18歳の若者が何を考え、何を思っているのか」をテーマに、18歳前後の若者を対象とする「18歳意識調査」を実施しているのが、公益財団法人日本財団（本部東京・港区）だ。最新調査となる「第78回調査」では、「国や社会に対する意識」をテーマに、日本・アメリカ・イギリス・中国・韓国・インドの6カ国17～19歳の1,000人の回答から、自国の将来や現状、自身と社会の関わりなどに対する意見をまとめた。本稿では、4月6日に公表された調査結果から、若者が自国の現状と未来をどのように捉え、どのようなキャリア意識を抱いているのかを探っていく。

の比較でいえば、日本の「特にない」22.5%の回答率の高さは際立っていると言えそうだ（表2）。

「給料」「興味・関心」「安定性」が軸 日本は協調性、チームワークも

「独立」よりも「安定」重視 反転したホスピタリティ産業

「第78回調査」の「もしあなたが全ての『職種』や『業種』から自由に仕事を選べるとしたらどれを選びますか（複数回答3つまで）」に対する日本の回答は、「芸能・音楽・美術」が20.5%で、同テーマのもと実施された前回「第62回調査」同様1位だった。以下、「観光・宿泊・飲食」が14.1%で2位に、「教師・講師・保育士」が10.6%で3位になった。

注目すべきは、「第62回調査」では別項目だった「観光」と「飲食・宿泊」を合わせた「観光・宿泊・飲食」が2位に入ったことだろう。「第62回調査」では、「飲食・宿泊」が8.5%で5位、「観光」が7.7%で7位となっていた。

これら職種・業種が順位を上げた背景には、宿泊業・飲食サービス業を中心とするいわゆるホスピタリティ産業の回復傾向が鮮明になったことがある。傍証として、総務省統計局の「サー

ビス産業動態統計調査」を引くと、令和8年2月の「宿泊業、飲食サービス業」の月間売上高は2兆2,959億7,700万円を記録し、前年同月比7.1%の伸長となっていた。「サービス産業」全体の月間売上高は35兆5,769億5,100万円の前年同月よりも4.1%伸びており、52カ月連続でプラスを更新していた。新型コロナ禍を経た現在、海外からの旅行需要も増加し、サービス産業に対する若者の関心が高まっていると考えるのに無理はないように思われる。

「第78回調査」に戻ると、日本・アメリカ・イギリス・中国・韓国・インドの6カ国に共通して「芸能・音楽・美術」「教師・講師・保育士」「医師・看護師・介護士」「デジタルインフルエンサー（SNS・ブログ）」が、上位10項目に上がっている。特に中国では、「第62回調査」時には10位圏外だった「デジタルインフルエンサー（SNS・ブログ）」が13.1%と、一気に1位に浮上した。さらに、他国と

「仕事を選ぶうえで、あなたが重視することを選択してください（複数回答3つまで）」という質問に対して、各国とも、上位10項目に限ってまとめて示したのが表1だ。6カ国共通して「給料の高さ」「自分の趣味・関心と合致するかどうか」「安定性（不況やリストラの懸念の少なさ）」が上位に上がっている。

日本の場合、「給料の高さ」が42.4%と最も高く、以下、「自分の興味・関心と合致するかどうか」が34.1%、「安定性（不満やリストラの懸念の少なさ）」が29.9%と続いている。

なお、日本を除く5カ国すべてにおいてランク入りしている「独立することができるか」という項目が、日本では上がっていないことには留意しておきたい。最多のインドでは31.9%に上り、最少の韓国でも13.0%を記録している。

一方、日本では8位につけた「人との接点を持つことができる・コミュニケーションを必要とするか」という項目については、韓国



で9位、アメリカで10位になっていたが、それ以外の3カ国では10位圏内に入っていなかった。

いずれの国でも共通して安定志向が強いが、それに加えて他国の場合は独立志向が強く、日本の場合は協調性やチームワークを重視していることが分かる。また、本件項目においても、日本の「特にない」との回答が17.9%と他国に大きく差をつけているのも特徴的だ。

ジェンダー観とキャリア意識 仕事と結婚の両立に関心

「自国のジェンダー意識・結婚・子育て観」に関して、「夫か妻のどちらかではなく、夫婦の両方が働いているべきだと思う」という項目に、「同意」+「どちらかといえば同意」とする「同意率」に対する日本の回答は、66.1%となった。これは他国に比べて最も低いもので、高い順に見ると、インドが82.9%、イギリスが76.8%、中国が76.4%、アメリカと韓国が71.2%と続いている。

一方、「夫婦に子どもが生まれたら、女性が育児を主に担うべきだと思う」という項目に対する日本の同意率は39.4%であり、6カ国中5番目に低い水準にあることが分かった。先の結果も踏まえると、他国ほどではないものの共働き志向は主流になりつつあり、性別分担役割意識は弱まってきていると解釈しても良さそうだ。

このほか、「現在の自国にとって重要なものはどれだと思いますか（複数回答3つまで）」に関する質問では、深刻な少子化問題を

■表2 なりたい職業（日本）
▼「第62回調査」（2024年4月3日）

1位	芸能・音楽・映画	16.7%
2位	医師・看護師	13.0%
3位	教師・講師・保育士	12.5%
4位	国や自治体の職員（公務員）	8.8%
5位	飲食・宿泊	8.5%
6位	デザイン・美術・写真	8.4%
7位	観光	7.7%
8位	ソフトウェア技術・開発	7.0%
9位	銀行・保険・証券	6.8%
10位	デジタルインフルエンサー（SNS・ブログ）	5.8%
—	特にない	20.3%

▼「第78回調査」（2026年4月6日）

1位	芸能・音楽・美術	20.5%
2位	観光・宿泊・飲食	14.1%
3位	教師・講師・保育士	10.6%
4位	医師・看護師・介護士	10.5%
5位	国や自治体の職員（公務員）	10.2%
6位	デジタルインフルエンサー（SNS・ブログ）	7.0%
7位	会計士・税理士	6.7%
7位	ソフトウェア技術・開発	6.7%
9位	銀行・保険・証券	6.3%
10位	社会福祉	6.0%
—	その他	7.0%
—	特にない	22.5%

資料：日本財団「18歳意識調査」第62回—国や社会に対する意識（6カ国調査）—「報告書」および「18歳意識調査」第78回—国や社会に対する意識（6カ国調査）—「報告書」をもとに編集部作成

抱える日本と韓国において、「少子化」と「高齢化」が1・2位を記録。日本の3位以下は「経済成長」「移民の増加」「自然災害」と続いたが、上位5位以内に「移民の増加」と「自然災害」が入ったのは日本のみだったというのは、近年の日本社会の姿からすれば、当然といえば当然か。

また、「自国は、国際社会でリーダーシップを発揮できる」「機会があれば留学や他国で就労をしてみたいと思う」の日本の「同意率」は、他国より10%以上も下回っている。

しかし、「自国には、優れたリーダーがいる」と答えた人は、アメリカ・イギリス・韓国よりも多く、57.7%に達した。これは「第62回調査」と比べても20%以上高く、日本の若者の政治指導者層に対する評価の改善がうかがえる結果となったようだ。

■表1 仕事を選ぶ上で重視するもの

	日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
給料の高さ	42.4% (1位)	43.5% (1位)	44.8% (1位)	29.6% (1位)	46.9% (2位)	39.0% (1位)
自分の興味・関心と合致するかどうか	34.1% (2位)	35.0% (2位)	39.6% (2位)	24.2% (3位)	49.9% (1位)	25.3% (4位)
安定性（不況やリストラの懸念の少なさ）	29.9% (3位)	29.2% (3位)	30.3% (3位)	27.8% (2位)	34.3% (3位)	18.8% (6位)
プライベートの時間を確保できるか	29.5% (4位)	25.3% (4位)	27.0% (4位)	20.8% (5位)	34.0% (4位)	23.8% (5位)
自分が新しい学びや能力を得られるかどうか	12.7% (5位)	25.0% (5位)	25.4% (5位)	19.3% (6位)	16.2% (6位)	27.1% (3位)
専門的な知識を活かすことができるか	12.1% (6位)	14.3% (8位)	14.5% (8位)	17.8% (7位)	14.9% (7位)	15.7% (8位)
周囲の人・コミュニティに貢献できるか	10.2% (7位)	16.0% (7位)	14.8% (7位)	*	*	12.5% (9位)
人との接点を持つことができる・コミュニケーションを必要とするか	10.0% (8位)	11.0% (10位)	*	*	12.4% (9位)	*
自律的に自分の判断で仕事を進められるかどうか	7.6% (9位)	12.8% (9位)	12.5% (9位)	16.1% (8位)	17.8% (5位)	12.4% (10位)
自国に貢献できるか	5.8% (10位)	*	*	16.0% (9位)	8.0% (10位)	16.7% (7位)
独立することができるか	*	17.3% (6位)	18.4% (6位)	21.1% (4位)	13.0% (8位)	31.9% (2位)
リモートワークができるかどうか	*	*	12.4% (10位)	*	*	*
特にない	17.9%	2.7%	1.0%	1.9%	1.3%	1.4%

（資料：日本財団「18歳意識調査」第78回—国や社会に対する意識（6カ国調査）—「報告書」をもとに編集部作成）



学科の特色を活かす「将来の進路」 就職指導は生徒の自主性を尊重する

校訓「礼儀・協同・勤労」のもと実学・実践教育を進め、広い視野を備えた心豊かな農業経営者、農業関連技術者および農業理解者の育成に努めているのが北海道帯広農業高等学校(北海道帯広市、佐藤裕二校長)だ。進路指導部長の桑原康丞教諭にお話をうかがった。

●産業界と連携した取り組み

北海道帯広農業高等学校は大正9年、十勝農業学校として開校し、令和8年に創立106年を迎える農業系の専門高校だ。同校には、「農業科学科」「酪農科学科」「食品科学科」「農業土木工学科」「森林科学科」の5学科が設置されている。

近年、農業の分野においては、自動化やICTを駆使したスマート農業が進むほか、SDGsに基づく持続可能な農業経営が求められている。同校では、最先端の職業人材育成システムを構築するために、設置している5学科すべてにおいて産業界と連携した取り組み



が行われている。

農業科学科および酪農科学科では、将来農業を目指す生徒を増やすために、十勝総合振興局(本局北海道・帯広市)とYUIME株式会社(本社東京・港区)と協働して「新規就農プログラムモデル研究開発」を実施しており、食品科学科では、十勝で活躍する最先端の食関連産業人材の育成が行われている。また、農業土木工学科では、産学官の連携により情報化施工技術等に対応できる農業土木技術者育成プログラムの開発が実施され、森林科学科では、ICTを活用したスマート林業教育プログラムの推進が行われている。

●生徒の自主性を促す指導

令和8年3月に卒業した189人のうち、就職者は82人だった。就職先は農業や食品関連、土木など学科の特色を活かした業種

が多く見られたという。また、就職者の80人が道内での就職を希望していたことでも分かるように地元志向が強い傾向がある。

生徒が重視する企業選びについて、進路指導部長の桑原康丞教諭は、「給与」「年間休日」「福利厚生」「仕事内容」が上位を占めており、地元の有名企業に人気が集まっていると分析する。

面接練習では、これまで教員が生徒一人ひとりに面接スケジュールを組んでいたというが、現在は生徒が自ら教員に直談判する練習スタイルへと変わり、最低8回を目標に社会に出る準備として主体的な取り組みを促している。

桑原教諭は早期離職を防ぐために「高校生のうちから企業と接点を持ち、働くイメージを具体化させることが不可欠であると考えます」と、話す。生徒に紹介する上で、企業の雰囲気や実態が分かる情報が重要視されるため、単なる条件提示だけではなく、「現場のナマの声」を求めている。



人の心と体と暮らしを支える 「働く喜び」を感じ自ら成長

●確かな信頼と厚い実績

株式会社日総(本社・札幌市、平井英司代表取締役会長)は、昭和60年の創業以来、北海道において医療・福祉施設、学校・保育所、社員食堂などへの給食サービスを主軸事業に展開してきた。

安全・安心な「食」の提供を中心とし、同社が掲げるスローガン「人に、くらしに、よりそう日総」のもと、より幅広い事業展開を目指す。「給食事業」のほか「介護」「保育」「外国人人材」「飲食店」など、多彩な事業領域を融合しているのも特徴の一つだ。

●充実した教育・研修体制

全道各地に約500カ所以上の事業所を構え、「北海道で働きたい」「地元で働きたい」という就職希望者を歓迎している。現在約4,000人の従業員が働いており、誰もが働きやすい職場づくりに努めている。分からないことがあればいつでも相談することができ、互いに助け合い、頼れる風



あらゆるニーズの「食」を提供する

通しの良い社風が魅力だ。

人材育成において、新規学卒新入社員を対象とする研修から全従業員を念頭に置いた研修、また職種に応じた入社後のスキルアップ研修まで、多彩で継続的な研修が実施されており、企業人としての成長機会が用意されている。

資格取得に関わる金銭的負担をサポートするほか、従業員やその親族などには、関連会社が運営する介護施設への入居、保育園への入園に際して優待される福利厚生をはじめ、従業員の生活環境の変化にも柔軟に対応し、「安心して長期勤務」ができる環境を整えている。働くことにより形成されるキャリアを大切に、従業員、企業の成長、そして地域に貢献していくことに努めている。

北日本エネルギー 札幌支店
(令和7年7月、旧・北日本石油株式会社より名称変更)

エネルギー総合企業として事業展開中!

●基幹事業 ガソリン等石油製品の販売、新車・中古車の買取・販売、カーリースなど
●設立 1959年(昭和34年)
●資本金 90,000,000円
●従業員数 995人

会社の強み・社風
半世紀以上にわたり石油製品販売業に携わり、業界トップクラスを誇る中核企業です。総合エネルギー企業として安定供給と地域に密着した持続的なサービスの向上を追求しています。危険物研修や整備士研修など、あらゆる業務に優先して人材育成に取り組んでいます。

〒007-0847 札幌市東区北47条東13丁目3-10
TEL 011-723-6411
URL https://www.kitanihon-oil.co.jp

有限会社弘栄電気

広大な鉄道ネットワークの大動脈を造る

●基幹事業 在来線および新幹線で使用する電線の架線新設・修繕 など
●設立 1974年(昭和49年)
●資本金 3,000,000円
●従業員数 16人

会社の強み・社風
私たちは、JR北海道・JR東日本の電車架線工事などを行い、鉄道の大動脈である電力の安定供給の一翼を担う会社です。安全対策、古くから培った技術力、高い技術力を未来に伝承するために万全の準備をしています。

〒047-0265 北海道小樽市春香町339
TEL 0134-62-3524
URL https://kouei-dn.com

AITOCR 斎藤建設工業株式会社

あなたと描く未来の設計図

●基幹事業 型枠工事の作業、型枠施工など
●設立 1961年(昭和36年)
●資本金 10,000,000円
●従業員数 24人

会社の強み・社風
当社は、建築技術が進歩していく中でも基礎工事から始まり、建物の原型を作り上げていくことができる仕事です。成した達成感と一緒に味わい、自分たちが手がけた建物が残っていることに誇りを持っています。

〒069-0845 北海道江別市大麻492-50
TEL 011-387-7222
URL https://saito-cr.deca.jp/

TAIHOKU 大北グループ

大地をデザインする富良野の建設

●基幹事業 農業農村整備工事、公共土木事業を中心にコンクリート構造物工事、測量・設計など
●設立 1944年(昭和19年)
●資本金 50,000,000円
●従業員数 86人

会社の強み・社風
「大北土木工業」をはじめ、合計七つの会社が大北グループとして横断的に連携を行っています。グループとしての強みを最大限に活かし、作らばりをコンセプトに日々業務効率の改善や品質の向上に努めています。グループで一貫して「心くみを最大限に活かし、作らばりをコンセプトに日々業務効率の改善や品質の向上に努めています。グに尽力しています。

〒076-0031 北海道富良野市本町8-1
TEL 0167-23-1111
URL https://www.taihoku-group.co.jp/

会員企業 キュリア教育 募集集中!! 支援協議会

高卒採用は宝の山

森部好樹 著、日経BP社 発行

成長企業は高卒新卒者を積極採用していた!
将来の伸びしろが大きく、多彩な現場で活躍できる高卒新卒者の採用実績、社員のインタビューなどを豊富に掲載。スタート・アップ、ベンチャー、中堅・中小企業のための理想的な人材獲得戦略を指南する一冊です。

お問い合わせ キュリア教育支援協議会
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1659(ライセンスアカデミー内)

福島建設工業株式会社

仕事は人生を創る。

●基幹事業 公共施設、高層マンション、大型商業施設などの躯体工事(型枠大工)など
●設立 1968年(昭和43年)
●資本金 30,000,000円
●従業員数 120人

会社の強み・社風
さまざまな建築物を生み出した型枠職人という仕事こそ、まさにAI技術では再現できない仕事です。身に着けた一生もの技術ド施工を手がけ、後世に残る北海道のランドン。当社では近年、新マークを築いています。

〒003-0021 札幌市白石区栄通11-5-8
TEL 011-852-2201
URL https://fukushima-k.co.jp/

ホクセイ建設株式会社

建設業はいまと未来の仕事!

●基幹事業 一般土木、国道の維持管理、除雪などの建設業
●設立 1976年(昭和51年)
●資本金 20,000,000円
●従業員数 31人

会社の強み・社風
当社は創業以来、土木の分野で技術力を伸ばしながら地域に貢献しています。また、測量・設計・施工において、ドを通して幸せになることを目指し、時代に合った魅力ある会社になるよう図面作成などを導入。社員がやりがいを持ち、仕ごに邁進していきます。

〒078-1722 北海道上川郡上川町新町98-39
TEL 0165-82-3199
URL https://www.instagram.com/hokusei_kamikawa

マルニシテグラ 札幌営業所

技術革新へのあくなき挑戦

●基幹事業 タイル・煉瓦・ブロック、石、鋼構造物、建具等の建築専門工事
●設立 1949年(昭和24年)
●資本金 3,000万円
●従業員数 約130人

会社の強み・社風
当社は、タイル施工業者として創業以来120余年経た伝統の輝きを保ちつつ、技術革新へのあくなき挑戦を続けています。また、品質確保を第一条件に誠実な施工を貫くことによって、歩み続けていきます。

〒060-0031 札幌市中央区北1条東8丁目(湯谷ビル3F)
TEL 011-222-2110
URL https://www.m-tegula.co.jp/

高校生対象添削教材
書いて考える進路

●大学進学希望者の試験対策に有効
生徒に身近な題材で、かつ300字という少ない字数から始めることができるため、文章を書くことが苦手な生徒であっても抵抗感なくスタートさせることができます。

※本教材は有料でご案内いたします。添削の有無や字数によって金額が変動するため、高校内での実施を希望する場合にはあらかじめお問い合わせください。

お問い合わせ ライセンスアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1706

高校生対象添削教材
書いて考えるキャリア

●キャリア教育の視点から添削指導
国語力・文章力の向上を促進するための講評に加え、キャリア教育の視点に立ったアドバイスをを行うことで、進路選択のミスミスを未然に防ぐこともできます。

※本教材は有料でご案内いたします。添削の有無や字数によって金額が変動するため、高校内での実施を希望する場合にはあらかじめお問い合わせください。

お問い合わせ ライセンスアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1706



株式会社 デイリー サービス

物流の力で地域の「食」を支える ていねいな教育が担保する安心・安全

●食卓を下支えする物流会社

株式会社デイリーサービス(本社・福島市、引地孝之代表取締役社長)は平成12年、乳製品や納豆、生ラーメンなどの日配品を扱う卸売業として、福島市で事業をスタートした。

卸売業の特色を活かして物流機能を強化し、現在はスーパーマーケットへの卸売から倉庫内での物流業務・配送までを一貫して手がけている。生産者と販売店を結び、安全で新鮮な食品を届ける物流会社として、地域の食を支えてきた。

●キメ細かな新人教育

社員が笑顔で働けることがより良いサービスにつながるという考えのもと、未経験者が安心して働ける環境を整えている点にも注目



代表取締役社長
引地 孝之 氏

したい。新人教育が非常に充実していることが特徴で、①基礎からていねいに育てる②段階的に成長できる教育体制③安全を最優先にした指導④一人ひとりを大切にする育成⑤将来につながるキャリア——という5点が強みだ。

入社後には三日間の「座学研修」を行い、安全についての考え方や会社のルールなど、トラックドライバーとして必要な知識を習得する。その後の「添乗指導」では、先輩社員がマンツーマンで指導にあたり、車両・設備の操作方法や運行ルート、納品ルールを基礎から学んでいく。研修期間は2～6カ月間と、個人の進捗に合わせてカスタマイズされる点も心強い。

ドライバーデビュー前の「検定試験」では、社長自らが社員の隣に乗車して試験を行う。ひとり立ち後もフォロー研修が用意されているほか、社長による安全研修を月に1回実施。自動車学校さながらの教育体制のもと、新入社員をていね

いに育て上げていく。

キャリアアップについては、運行管理者資格や中型・大型免許取得の費用を同社が全額負担するため、「準中型→中型→大型」と、車種の段階を上げていくことが可能だ。また、学歴に関係なくリーダーや管理職を目指す風土のため、やる気と能力次第で長期的なキャリアを築ける点も、高校新卒者にとって大きな魅力の一つに違いない。

株式会社デイリーサービスでは、令和9年4月入社対象の高校新卒者を約二人ドライバー職として採用予定だという。入社を志す者に望むこととして、「身近な人を大切にできない人は、お客様のことも大切にすることはできません。まずは、自分自身の親や家族を大切にしたいと思えます」と、引地社長。

今後も同社では、社員を大切に育てる教育体制と、人とのつながりを重視する方針のもと、福島県民の食卓を下支えするドライバーの育成に注力していく。

山形県立 長井工業 高等学校

地域産業を担う人材育成 工業高校独自のキャリア教育

山形県立長井工業高等学校(山形県長井市、川井良彦校長)は、令和8年度に創立64年目を迎える。「長工生よ、地域を潤す源流となれ！」のスローガンのもと、地域社会に貢献できる人材の育成に注力し、これまでに9,800人以上の卒業生を輩出してきた。

設置学科は、「機械科」「電子科」「福祉環境科」の3学科。「四輪自動車」「自家発電する住宅模型」「マタニティーリュック」の製作など、学科の特色に応じた「ものづくり」に取り組んでいることが特徴だ。ものづくりを通じて他者の想いを「想像」し、確かな技術で未来を「創造」する力を育んでいる。

キャリア教育については、ものづくりのプロフェッショナルを目指す工業高校ならではのプログラムを1年次から展開している。令和8年3月には、1年次を対象とする進路ガイダンスを校内で実施した。地域企業を中心に11機関がブースを設け、仕事内容や必要



な資格・技術、求める人材に関する説明を行った。

当日は、熱心に耳を傾ける生徒の姿が多く見られ、参加企業からは「「いますぐ採用したい」と思えるほど、生徒の聞く姿勢が素晴らしい」という声が聞かれた。製造業や建設業、電子通信業などの第一線で活躍する業界人から直接話を聞くことで、業界や業種に対する理解を深める好機となったようだ。

さらに、2年次は1学期に全員がインターンシップに参加するほか、3年次は、7月に米沢市で行われる合同企業説明会に参加する。仕事内容の情報収集など、進路決定に向けた動きを加速させていく構えだ。地域から愛される長工生の今後の活躍に、より一層期待が高まっている。

髯トヨタレンタリース青森

安心・安全!トヨタのカーシェア!

●基幹事業 各種車両のリース・レンタル・中古車販売 ほか
●設立 1967年(昭和42年)
●資本金 49,000,000円
●従業員数 217人

会社の強み・社風
「常に先進的な考えでお客様に最高のサービスを提供する」を経営理念に掲げ、レンタカー・カーリースという商品を域のため、お客様の通じて仕事に取り組んでいきます。

〒038-0001 青森市新田3-6-4
TEL 017-782-7100
URL https://www.r-aom.co.jp/

星野リゾート青森エリア

お客様の「旅を楽しむ」

●基幹事業 星野リゾートグループとしてのホテル・旅館運営
●設立 2006年(平成18年)
●資本金 3,000,000円
●従業員数 310人

会社の強み・社風
変化が目まぐるしい時代の中で私たちが大切にしていることは、新たなサービス創造や地域魅力の発掘、オペレーション構築など、常に変化を恐れず挑戦する姿勢です。日々の業務で蓄積した気づきやアイデアをチームメンバーと議論しながら形にすることができると感じています。

〒033-0044 青森県三沢市字古間木山56
TEL 0176-53-5156
URL https://hoshinoresorts.com/ja/hotels/oirasekeiryu/

株式会社キタセキ

信頼の品質と安定供給で日本の物流を支えます

●基幹事業 大型サービスステーション(ガソリンスタンド)の運営
●設立 1975年(昭和50年)
●資本金 50,000,000円
●従業員数 326人

会社の強み・社風
さまざまな経営環境の変化の中、当社は的確に対応して成長し、令和6年8月で創業50年を迎えました。今後多くの課題が待ち受けていますが、当社が勝ち残っていき、さらに飛躍する会社と確信しています。共に「会社=社員」のよりの将来を展望し、邁進してまいります。

〒989-2493 宮城県岩沼市相原3-1-6
TEL 0223-24-1661
URL https://www.kitaseki.co.jp/

協和運輸倉庫株式会社

空間と物流のクロスロード

●基幹事業 倉庫サービス、物流サービス、人材派遣、情報システム
●設立 1962年(昭和37年)
●資本金 1億円
●従業員数 155人

会社の強み・社風
宮城県を中心とした倉庫管理・流通加工や、東日本エリアへ物流サービスを展開している会社です。安全でスピーディーな輸送・保管し運ぶ物流から、心の商品管理、環境によりモノの価値を高めやさしい物流を提供する物流へ対応します。

〒983-0036 仙台市宮城野区苦竹3-6-10
TEL 022-237-7311
URL https://www.kyowa-unyū-soko.co.jp/

東洋ワークセキュリティ髯

安全・安心な社会づくりのプロとして

●基幹事業 警備、総合セキュリティ、建物サービス(管理・清掃)、防犯システム販売
●設立 2009年(平成21年)
●資本金 40,000,000円
●従業員数 3,000人

会社の強み・社風
東北で安定した経営基盤を作り、技術向上に取り組むと共に、関西地方への事業拡大など積極的なチャレンジをしています。指お客様には「安全・安心・導教育や事務管理、営業環境」をキーワードに質の高いサービスを提供する意分野で活躍できます。

〒980-0803 仙台市青葉区国分町1-7-18
TEL 022-225-5068
URL https://www.tw-s.co.jp/

就職を目指す高校生のみなさんへ 近刊 5月発行

進路のてびき2027 就職活動スタート号 東日本版 西日本版

就職・公務員編

準備編 就職する前に知っておこう!
実践編 「就職活動」に備えるために
公務員編 社会に奉仕する公務員への道

お問い合わせ 進路情報研究センター ライセンスアカデミー

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656

進路のてびき2027 就職活動スタート号 就職・公務員編

優良&堅実経営の業界&企業研究のための最新情報!!

高校生「企業研究」用 インフォメーション大公開!!

就職情報 入手のための

「高校新卒者」を積極的に採用・育成している個別優良企業の紹介と共に、日本の産業社会のアウトラインも解説! 就職指導ご担当教員の方、必携の一冊です。

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656

髯平和住宅情報センター

快適な仙台ライフの実現をサポート

●基幹事業 賃貸仲介事業、賃貸管理事業、資産運用事業など
●設立 1990年(平成2年)
●資本金 10,000,000円
●従業員数 140人

会社の強み・社風
仙台市を中心に不動産の賃貸仲介・管理・売買を行う当社は、顧客のニーズに応じて最適なご提案ができるよう使命感と責任感を強く体制を整えています。持ち、未来を見据えた「生活の基盤となる住まいを提供する」ことへの社会に貢献します。

〒981-8004 仙台市東区旭堤2-21-4
TEL 022-234-6011
URL https://www.heiwajutaku.com/

関東・首都圏 オープン・カンパニー 伴走する進路指導体制

大同特殊鋼株式会社 就職希望生徒の企業理解を深める「オープン・カンパニー」を初実施

大正5(1916)年に創業した大同特殊鋼株式会社(本社・名古屋、清水哲也代表取締役社長)は、素材の可能性を追求し、人と社会の未来を支えてきた。昭和12(1937)年設立の渋川工場(群馬県渋川市)で実施された高校生対象の「オープン・カンパニー」を紹介する。

●社会を支える特殊鋼を製造

大同特殊鋼株式会社は、自動車や航空機、半導体製造装置等で使用される特殊鋼を作る素材メーカーだ。事業区分としては、「特殊鋼鋼材」「機能材料・磁性材料」「自動車部品・産業機械部品」「エンジニアリング」「流通・サービス」の五つがあり、渋川工場は主に特殊鋼や超合金の製造を行っている。製造した素材は、輸送機器や発電設備、産業機械、電子機器など幅広く活用されており、目には見えないところで世界の産業を支えている。

●工場見学で企業理解を深める

3月26日、渋川工場にお



事業内容や教育環境の説明がなされた

いて、オープン・カンパニーが初実施され、高校生4人が参加した。

当日は、渋川工場総務室の松崎主任部員が事業内容や工場概要の説明を行うと共に工場見学も実施し、名古屋市にある新入社員教育のための教育施設「技術学園」の解説もなされた。「技術学園」は、愛知県から認定を受けている職業訓練校で、入社後に約10カ月間かけて寮生活を行いながらここで学び、鉄鋼の製造技術と電気・機械保全の技術を習得する。修了時に技能検定熱処理技能士補準2級を取得でき、各部署に配属されるとというのが一般的な流れだという。

参加した生徒からは「工場内部の様子を見ることができ、企業理解に役立ちました」「進路選択の参考になりました」といった肯定的な感想が寄せられ、最終



工場内で特殊鋼の製造過程を見学する

***オープン・カンパニー** 企業や職務内容を具体的に知るためのキャリア形成支援プログラムの一つ。インターンシップのような業務体験はなく、半日から一日など、極めて短い期間で終了するのが特徴の一つとされている。

的には、全員が「大変良かった」と評価したように満足度の高いオープン・カンパニーとなった。

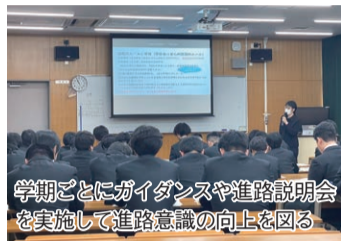
松崎主任部員は、高校生対象のオープン・カンパニーは初めてだと前置きした上で、「就職希望の高校生に当社を知ってもらう有意義な機会となりました」と、手応えを語る。オープン・カンパニーは生徒と企業が共に理解を深める機会として、確かに意義のある取り組みとなったようだ。

入社後に入校する「技術学園」をはじめとする充実した教育環境が心強い。地道な努力が大きな花を咲かせることになるのだろう。

東京都立足立工科高等学校 体系的な進路指導の実践 産業基盤を担う人材を育成

東京都立足立工科高等学校(東京都足立区、塩崎智之校長)は、総合技術科を設置する工科高校だ。ものづくり技能やデジタルスキル、グローバルスキルを習得した上で新たな価値を創造し、地域や日本の産業基盤を支えることができる人材を育成する。1年次に機械・電気・情報の基礎を、2年次からは「機械」「電気システム」「制御システム」「情報コミュニケーション」という四つのコースに分かれて、学びを深めていく。

同校では就職希望者が7割を超えるため、1年次から体系的な進路指導に注力している。その第一歩として、各学年の目標を設定し、学期ごとにガイダンスまたは進路説明会を実施する。1年次には企業見学会、2年次にはインターンシップなど、進路を具体的に描き出す多彩な機会を創出してこれを提供している。進級を目前に控える2年次の3月には3年次で一気に本格化する就職活動に備えて、活動のアウトラインを理解



学期ごとにガイダンスや進路説明会を実施して進路意識の向上を図る

し、好ましい心構えなどを持つことを目標に、二日間の就職準備講座を受講するほか、3年次には模擬面接講習や履歴書指導などの実践的な対策が行われる。

去る3月17日、1・2年次対象の進路相談会が開催され、参加生徒は人事・採用担当者から直接会社の説明を聞くことで、社会で働くことに対する意識をより高めた。進路指導部就職担当の田村由美子主任教諭は、個別生徒が自分の状況を認識することで進路意識が向上したと語る。3年間を通じて意識を醸成する「足立工科流」で進路意識が形成され、入社後の離職率の低さにもつながっていると田村主任教諭は確信している。生徒に伴走する進路指導体制が、生徒の希望進路を実現へと導いていく。

株式会社イハシ(イシグループ)

100年以上の伝統と実績で安心を提供

●基幹事業 セルフガソリンスタンドやレンタカー店の運営、ガス器具の販売、リハビリ介護施設の運営など

●設立 1910年(明治43年)

●資本金 3億7,600万円

●従業員数 1,110人

会社の強み・社風

ライフスタイルの変化に対応する生活関連事業を行うなど、常に未来を見据えて活動しています。幅広い事業を手がける当社だから、自身の可能性を広げることができます。

〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地1-1-2
TEL 048-985-9111
URL https://ihashi-hd.net

株式会社関電工

キミの技術で未来を照らせ!

●基幹事業 建築設備工事、情報通信インフラ工事、電力・土木インフラ工事

●設立 1944年(昭和19年)

●資本金 102億6,400万円

●従業員数 8,037人

会社の強み・社風

当社は社員一人ひとりが誇りを持って働くことができる職場づくりを大切に、電力インフラを通して人々の暮らしと未来の社会を支えています。

私たちが一緒に、人々が住む街に光と安心を届けてみませんか?

〒108-8533 東京都港区芝浦4-8-33
TEL 050-3066-9114
URL https://www.kandenko.co.jp/saiyou_highschool/

太陽鉱油株式会社

燃料を通じて物流を支えます

●基幹事業 エネルギー販売

●設立 1971年(昭和46年)

●資本金 44,000,000円

●従業員数 1,035人

会社の強み・社風

当社は物流を支える運送会社に向けた軽油販売をメインに、東日本エリアで直営60店舗のネットワークを有しています。充実した社内教育制度で社員をサポートしますので、成長の喜びが感じられるキャリアアップが描けます。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-8-1 TT-2ビルディング6F
TEL 03-5641-5215
URL https://www.taiyo-koyu.co.jp/

多摩電気工事株式会社

多摩地域の電力を支える

●基幹事業 配電設備工事を中心とする受電設備工事、電気通信設備工事など

●設立 1959年(昭和34年)

●資本金 72,500,000円

●従業員数 152人

会社の強み・社風

創業から今日まで、配電設備の建設、改修、保守の業務を通じて社会生活に必要な「電力インフラ」を支えてきました。磨き、最高の技術と高い仕事品質で社会貢献する気持ちを大切に目指します。

〒191-0065 東京都日野市旭が丘3-1-10
TEL 042-581-5351
URL https://www.tamadenko.co.jp/

古河電気工業株式会社 羽田事業場

電気を社会に届ける仕事

●基幹事業 発電所や変電所、大型工場で使われる超高压電力ケーブルの接続工事など

●設立 1896年(明治29年)

●資本金 69,395,000,000円

●従業員数 51,167人

会社の強み・社風

当社で働く「Joiner(ジョイナー)」は電力インフラの根幹に携わる重要な役割を担います。マンホールの中に入り、超高压送電ケーブルの接続作業を行うこの仕事は、まさに緑の下の力持ち。ぜひ私と一緒に日本の電力インフラを支えませんか?

〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-8-8 第三綜合ビル
TEL 03-5579-7302
URL https://www.furukawa.co.jp/

ホックン株式会社

くらしと地球のいちばんそばに寄り添う存在でしたい

●基幹事業 各種容器等の製造販売・清涼飲料水等の受託製造販売

●設立 1921年(大正10年)

●資本金 5億円(北海道製)4億1,100万円(日本キャンパック)

●従業員数 500人(北海道製)7,071人(日本キャンパック)

会社の強み・社風

缶やPETボトルなどの容器製造を行う100年企業です。清涼飲料水の充填も行っており、受託充填企業として国内シェアトップクラスを誇ります。皆さんのご近所から関東圏まで、安心・安全に提供させていただきます。

〒103-0022 東京都中央区日本橋本町2-1-1 日本橋二丁目1F
TEL 048-662-9671(人事部採用担当)
URL https://hokkanholdings.co.jp/

メルコビルエンジニアリング

確かな技術で快適なビル空間を提供します

●基幹事業 昇降機(エレベーター・エスカレーター)などの販売・設計・工事

●設立 1973年(昭和48年)

●資本金 2億円

●従業員数 1,400人

会社の強み・社風

私たちは昇降機というインフラによって人々の安全な移動を支え、生活に彩りと感動を与えるプロフェッショナル集団です。社員一人ひとりが主役となって日々挑戦し、成長を共にしています。

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2(山王ランドビル6F)
TEL 03-6257-8931
URL https://www.resco.co.jp/

株式会社田子重

地域社会になくはない存在に

●基幹事業 静岡県に14店舗のスーパーマーケットを経営

●設立 1972年(昭和47年)

●資本金 50,000,000円

●従業員数 293人

会社の強み・社風

地域一番店を目指して、品揃え豊富、快適な店舗づくりを心がけています。地域に密着した、人々の暮らしに必要な食料を安心・安全に提供します。教育制度が充実しており、切磋琢磨しながら技術を向上することができそうです。

〒425-0035 静岡県焼津市東小川2-16-14
TEL 054-627-3134
URL https://www.tagoju.co.jp/

地元で輝く! ぐんまの仕事ガイド

2026年27号 既刊

群馬県の高校生のみならずの就職活動に役立つ内容を数多く紹介! 高校新卒者を積極的に採用する企業の紹介はもちろん、先輩社員からのメッセージも掲載しています!

▲好評既刊(2026年度27号)

●山本一太知事が語る!!

●「職種」「業種」「就職」など役立つキャリア情報を凝縮!!

●企業インフォメーション

お問い合わせ ライセンスアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656

外国人材採用&活用

ポイントとヒント

多様な国籍のコラボレーションで生産性を高める!

目の前に突きつけられた「少子高齢化」と「人口減少」——。今後大きな変容を余儀なくされる「日本社会」の中で、経済規模を維持し、さらなる成長を図るためには! 「日本の未来」に対する示唆と提言が話題!!

お問い合わせ 大学新聞社
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1668

東海・北陸 サクラサク・プラン

キャリア教育支援協議会 就職研究会

三重県立石薬師高等学校

「3年0学期」に行われる独自の模擬就職活動 早期の課題発見で好スタートにつなげる

三重県立石薬師高等学校(三重県鈴鹿市、山本勇人校長)では、「分かる」実感と共に勉強に対する自信がつく授業を行っている。進路指導においては、「サクラサク・プラン」という3年間のキャリア教育プログラムがあり、「3年次0学期」には「模擬就職活動」を実施する。進路指導主事の権部洋平教諭を訪ね、お話をうかがった。

●進路に合わせた2種類の学び

昭和53年に開校し、令和8年度で創立48周年を迎えた三重県立石薬師高校。これまでの卒業生は1万人を超え、地域社会で活躍する多くの人材を輩出してきた。「自主・創造・敬愛」を校訓に掲げ、ていねいな個人指導や少人数教育を取り入れた教育活動を展開している。

1年次は全員共通のカリキュラムを履修し、2年次からは目的に応じて「スタンダード系列」「アカデミ

ック系列」の2系列に分かれて学びを深めていく。

スタンダード系列は、就職をはじめとする生徒一人ひとりの希望に合った進路実現に役立つ基礎的・基本的な知識に加えて、商業や家庭生活に関する知識と技術を学ぶ。職業観や勤労観を修得し、地域の即戦力として将来活躍できるようにすることを目標とする。

アカデミック系列では、4年制大学や短期大学、専門学校などへの「総合型選抜」や「一般入試」などの

入試に対応できる力を身につける。将来的に、教育や社会福祉などの専門的な資格を得ることや、保育士などを目指すために進学を考える生徒が集まるという。

●独自のキャリア教育プログラム

石薬師高校には、「サクラサク・プラン」と呼ばれる3年間を通したキャリア教育プログラムがある。学年に合わせて段階的にプログラムを組んでおり、その中でも3年次の準備期間とされる「3年次0学期」の核に該当するのが「模擬就職活動(MSK)」だ。

これは、3年次の一連の就職活動をできるだけ近い形で疑似的に体験するとい

うもの。進路実現に向けて自分の課題を明確に把握し、3年次1学期から主体的に職業を選択したり、積極的に面接指導や履歴書指導に臨んだりすることができる状態を目指すことを狙いとしている。

令和7年度は、12月から3月にかけて全17回のプログラムを実施。就職活動に必要な知識を学ぶガイダンスのほか、求人票の見方や履歴書の書き方、面接に筆記試験といった内容まで多岐にわたる。

特に、面接は「面接時の身だしなみ、一連の動作を知ろう」「面接の内容を考えよう①・②」「模擬面接①・②」と、全5回にわたって展開。模擬面接の2回目は外部講師を招いて行われたといい、生徒にとって本番に近い環境で練習できる貴重な機会となったようだ。



進路指導主事の権部洋平教諭は「模擬就職活動では、失敗や不合格などのうまくいかなかった経験を大事にすることで、3年次につながるような指導を心がけています」と、話す。

「志望動機」や「自己ピーアール」を作成して面接試験を受けるという一連の流れは、進学希望者であっても根本的に変わらない。いずれは就職活動も必要になることから、積極的な参加を促しているという。

同校では今後も、キメ細かいサポートによって、希望進路の実現を後押ししていく構えだ。



賃金の「逆転現象」に不満の声 デジタル時代、企業選びに新たな視点

キャリア教育支援協議会(本部東京・新宿区)は令和8年2月、岐阜県および三重県の高校教員と企業の人事・採用担当者を対象とする「高校×企業 就職研究会～最新の高卒就職状況と高卒採用における課題、対策について～」と題する研究会を開催した。

「セラミックパークMINO」のイベントホールを会場とした岐阜会場には高校7校と企業9社が、「三重県勤労者福祉会館」の研

修室が会場となった三重会場には高校8校と企業7社が参加した。

今回の研究会は、近年求人票のデジタル化が進む中で、生徒が求人票で確認する項目に変化が認められる状況を中心に、現状の就職環境の共有や情報交換を目的として開催された。イベントは二部制で実施され、第一部では、公的機関のデータや同協議会の調査データを使用し、リアルな高校新卒者の就職状況に関する

説明がなされ、第二部では高校と企業が意見を互いに交換した。

進行する少子高齢化を中心に、さまざまな社会的・構造的要因から、近年は求人数が増加し、それと軌を一にする進展したデジタル化の恩恵を受けて求人条件の検索性が向上したとされる。生徒視点では、「初任給」「休日」「勤務地」などに目ざとまりやすくなっているとの指摘がなされた。そうした傾向を受けていることもあるのだろう、企業側では初任給の釣り上げ競争が始まっており、依然として継続傾向にある賃上げへの対応に限界を感じているとする企業や、既存社員と新卒社員の給与のバランスが崩れ、社内で不満が生じているといった状況が話題に上ったのだという。

初任給が上がること自体は悪くはないというの

が、高校側の基本的なスタンスだが、数年前に入社した先輩卒業生が待遇の差に不満を抱きかねないことへの懸念も示されたようだ。

それでは、労働条件以外に、企業は何をどのように伝えれば良いのかという問題提起がなされ注目された。事前実施の対企業アンケートの結果が共有され、「高卒採用活動の一環として実施していること」の項目では「高卒採用WEBページの作成」「採用動画の作成やSNSの運営」など、詳細な内容が公開された。

また、「入社後長く勤めている社員が魅力に感じていると思われるもの」の項目では「休日数」「キャリアアップしやすい環境」「人間関係の良さ」など、長期就業につながる職場環境の要素があげられていたのだという。参加した高校教員からは「求人票を見ただけ

では知り得ない内容だったため、有意義な意見だと感じた」という趣旨の反応があった。

これは、高校新卒者に限らないが、近年の就活市場は売り手優位の状況が続いているため、高校の教員と波風が立つのを嫌って本音の情報を伝えられない企業や、当たり障りのない説明に終始する企業も珍しくはなくなっている。今回参加した高校からも「どのような生徒でも良いではなく、もっと尖ったピーアールをして欲しい」という鋭い意見も投げかけられた。

高校と企業の間で村度が働き本音が語られないとすれば、そのしわ寄せは生徒に及ぶのは必定だ。今後も同協議会では高校と企業の情報交換の機会として、採用現場の課題を共有できるようさまざまなアプローチをしていく予定だ。



愛知県三河地区・静岡県西部の高校生のための進路応援BOOK

令和9年度入学志望者用 2027 最新刊

将来、活躍を目指すフィールドを意識したキャリアを構築するために、有益な情報を幅広く掲載！進学→就職の成功体験など、地元出身の先輩たちからのメッセージを含む情報等が充実しています。

▲最新刊(2027年度版)

巻頭特集 生まれ変わる専門学校 高等教育、新しい時代へ第一歩

本文特集 愛知県三河地区・静岡県西部の高校生進路事情

お問い合わせ ライセンスアカデミー 千169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24 TEL 03-5925-1656

アイシン高丘株式会社

クルマの未来は「素材」がつくる

●基幹事業 自動車部品を主体とする鋳造・機械加工、塑性加工の開発・製造・販売

●設立 1960年(昭和35年)

●資本金 5,396万円

●従業員数 単体:2,439人 連結:11,847人

会社の強み・社風

自動車を中心に、ものづくりを根底から支えられることが当社の仕事の魅力です。工業高校出身者はもちろん、生が充実しているほか、学科問わず大歓迎です。寮や社宅も完備されています。有給休暇取得日数 いるため安心して働ける環境が整っています。

〒473-8501 愛知県豊田市高丘新町天王1 TEL 050-3094-5324 URL https://www.at-takaoka.co.jp/

AIRIKU 愛知陸運株式会社

時と人をつなぐ

●基幹事業 自動車部品輸送事業、貸切(車扱)運送事業、航空貨物関連事業

●設立 1942年(昭和17年)

●資本金 4億6,500万円

●従業員数 1,467人

会社の強み・社風

トヨタ自動車株式会社の物流子会社として、愛知県を中心に全国41拠点を持つ総合物流企業です。入社後約3カ月間の社内研修があり、大企業運転技術はもちろん、会社のルールなどについて充実しています。

〒473-0934 愛知県豊田市前林町住吉32 TEL 0565-99-7521 URL https://www.airiku.co.jp/

OTA 太田商事株式会社

1655年(承応4年)創業の老舗企業

●基幹事業 建設資材、エネルギー、外食事業

●設立 1921年(大正10年)

●資本金 48,000,000円

●従業員数 270人

会社の強み・社風

当社は愛知県の西三河を中心にガソリンスタンド・コマダ珈琲を運営し、そのほかにも地域ムタイプの駐車場に根差したさまざまな事業を展開し、取得制度も充実しています。ワンルー

〒448-0841 愛知県刈谷市南桜町1-73 OTAビル9F TEL 0566-23-5811 URL https://www.ota-shoji.co.jp/

フジパングループ本社 髙

「本仕込」のフジパンです!

●基幹事業 パン・和洋菓子の製造と販売のほか、物流、パン製造直売店の運営など

●設立 1951年(昭和26年)

●資本金 46億8,200万円

●従業員数 約14,470人

会社の強み・社風

フジパングループでは、製パンのみではなく四つの事業を展開しています。「ホールセール」「リテイビジネスを展開するル」「リカ」「ロジス」ことで、常に変化をティックス、グルー お客様のニーズにブ全体で多彩な食品 お応えしています。

〒467-8651 名古屋市長橋区松園町1-50 TEL 052-831-5152 URL https://www.fujipan.co.jp/company/



ガス内管工事業 柔軟な働き方

大晃設備株式会社

ガスを届けるルートを作り地域ライフラインの稼働を維持 “柔軟な働き方”のもとエッセンシャル・ワーカーとして社会を支える

昭和21(1946)年に創業し、ガスインフラの整備を通じて地域住民の暮らしに大きく貢献している大晃設備株式会社(本社・大阪市、高橋孝治代表取締役社長)。高い技術と知識を有するプロフェッショナル人材の育成に力を入れており、研修制度やサポートが手厚い。管理部管理チームの治京雅明氏を訪ね、事業内容や新入社員の人材育成システムなどについてお話をうかがった。

高い技術と累積したノウハウ 地域インフラを支えて半世紀

大晃設備株式会社の設立は昭和50(1975)年。大阪ガス株式会社(本社・大阪市)の指定工事会社として半世紀にわたり都市ガスの安定供給に貢献し、近畿地方2府4県のライフラインを支えてきました。

当社のメイン業務である「ガス内管工事」では、道



大晃設備株式会社 管理部管理チーム 治京 雅明氏

路の下を通る大きなガス管からガスを建物内に引き込み、各設備でガスを使えるように建物内に配管を組みます。ガスは便利な一方、取り扱いを誤ると爆発や火災など大きな事故につながりかねない危険性があります。そのため、高い技術と安全管理能力が認められた「指定工事会社」が法律に従って工事を行うことが定められており、その意味で公益性が高い仕事です。

当社は、これまでに培ってきたノウハウと実績から、床暖房や浴室乾燥機などのガス住宅設備機器の施工はもちろん、より高度な技術を要する学校や商業施設といった大型物件に対す

るガス工事に自信を持っています。自分が担当した仕事が地図に残ることが大きな魅力です。また、インフラ事業は生活に関わる必要不可欠なものであるため、景気の影響を受けにくい側面があり、安定しています。

活躍する8割が高校新卒者 プロフェッショナルを目指す

高校新規卒業者の採用活動では、現場管理を担う「施工管理職」、実際に現場で工事する「ガス工事施工スタッフ」という二つの職種を募集し、例年約5人を採用します。今後は、事務所から現場を支える「事務系職種」も積極的に採用していくつもりです。

ガス内管工事は高い品質の商品やサービスを提供するため、確かな知識と技量が求められます。大阪ガスの「人材開発センター」で



未経験でも着実にスキルアップ



チームワークの良さも魅力の一つ

工事内容に応じた資格・講習カリキュラムを受講することができます。

当社は、現場で活躍しているおおよそ8割が、高校新卒就職者という特徴があります。新入社員全員が未経験で知識を持たずに入社してきますが、万全な教育・育成制度のもとで着実に成長していきます。OJT制度を導入し、常に先輩社員が伴走して支えます。先輩の教えや技術を素直に吸収してスキルアップし、“プロフェッショナル”を目指していただくことを期待しています。1級管工事施工管理技士など、国家資格の取得も全面的にサポートしていますから、ぜひ挑戦して欲しいと思います。何事にも全力で取り組むことで、大きな活躍につながるでしょう。やりがいを感じながら確かな技術を身につけることができます。

日を確認し、仕事とプライベートを充実させている社員がほとんどです。

社員の4割が20代～30代と、年齢の近い先輩が多いためコミュニケーションを取りやすい環境で、役職や部署間の垣根が低く業務上のことはもちろん、プライベートな悩みも相談しやすいでしょう。職場の人間関係に不安を感じることなく、安心して業務に集中できます。

インフラ業界は、職人気質なイメージを持たれがちですが、現場職では特にコミュニケーション能力が大切です。また、ガス工事に携わるにはさまざまな資格が必要になるため、自分自身を律して資格勉強や試験を突破していくことを強く期待しています。

現場の状況を総合的に判断して自らの手で正確に配管をつなぎ安心を提供する「ガス内管工事」という高度な仕事は、AIが台頭する現代においても変わらず人間が担い続けていくに違いありません。今後、ガス以外の燃料が主流になっても、「燃料を運ぶ」ことが失われることはないでしょう。高校の進路指導担当の先生方には、時代・世代を超えて街を支え続ける将来性と安定性を誇るエッセンシャル・ワーカーを、進路の選択肢の一つとして生徒のみなさんにご提示いただけたら嬉しく思います。

入社2年目▶ 高校新卒就職者 特別インタビュー

一生モノの技術を「前向きな姿勢」で身につける

私は高校卒業後、令和7年4月に入社し、生産技術本部第一工事で勤務しています。新築の商業施設や店舗にガスを通すための配管を設置する工事を担当し、現在は主に専用の機械を用いて配管を適切な長さに加工する「ネジ切り」作業や職長の指示に沿って工具、材料を準備する補助業務に携わっています。



大阪府立淀川工科高等学校出身 桑野 琉穂さん

大晃設備ではフルフレックスタイム制度が導入されていて、始業時間と終業時間は固定されていません。そのため、勤務の流れは現場や日によって異なります。工程がタイトな時は進捗に応じて柔軟に勤務しますが、予定より早く作業が終わった場合はそのまま帰宅でき、メリハリをつけた働き方が可能です。

入社当時は、道具の名前を覚えるといった基本からスタートしました。面倒見の良い優しい先輩方から教わるのができ、いまでは高い精度が求められる配管加工であるネジ切りを正確に調整することができるようになりました。当社では「人の温かさ」を実

感する場面が多く、チームワークで一つのモノを作り上げていく一体感が自慢です。

建設現場など屋外で作業するため、夏の暑さや冬の寒さなど体力的に大変なことも少なくありません。しかし、会社から空調服や防寒着、飲料水などが用意され、こまめに休憩できるため、体調管理に不安は一切ありません。

自分が携わった建物が完成し、実際にガスが供給されて稼働する様子を確認した時の達成感は格別です。当社に少しでも興味・関心がある高校生みなさんに「社会インフラの構築に携わった時のやりがい」をぜひ感じていただきたいと思っています。

柔軟な働き方で生産性を維持 待望されるエッセンシャル・ワーカー

当社の考え方は、「それぞれの役割に必要な活動時間が勤務時間だ」というもので、「柔軟な働き方」にこだわっています。始業時間と終業時間は先輩やチームと相談して決定し、固定の勤務時間に縛られることなく社員一人ひとりが効率良く柔軟な働き方で仕事に向き合います。生産性を落とすことなく豊富な年間休

大晃設備株式会社

「人々の快適な暮らし」を支え続ける

- 基幹事業 ガス工事、ガス住宅設備工事、ガス空調工事、給排水衛生設備工事
- 代表者 代表取締役社長 高橋 孝治
- 設立 1975年(昭和50年)
- 資本金 9,800万円
- 従業員数 98人

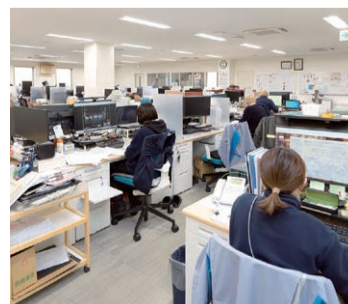
会社の強み・社風

大阪ガスのパートナーとしてライフラインの施工を行い、経営基盤は安定しています。フレックスタイム制度やテレワークを導入し、効率の良い働き方を推進しています。研修は大阪ガスの施設で行い、充実した研修体制を整えています。ガスや配管の基礎知識を学び、必要な資格を取得できます。スタートラインはみなさん同じですので、未経験でも着実にステップアップが可能です。

高校生のみなさんへ

大晃設備株式会社は、戸建住宅に加えて学校や大型商業施設、誰でも知っている街のランドマークなど、あらゆる建物に対する「生活になくてはならない」ガス設備というライフラインの施工を通して、地域の生活を支えています。お客さまファースト

かつ従業員ファーストで、一緒に働く仲間を大切にしています。現場で活躍している先輩の8割は高卒の方で、未経験からでも安心して働くことができます。共に働くことで仕事もプライベートも充実感を得ながら、自分の可能性を広げて一緒に成長していきます。



九州・沖縄 STEAM教育 進路報告会

佐世保実業高等学校 地域を担う有為な産業人を育成 周辺校と合同開催の進路ガイダンス

令和8年に創立60年を迎える佐世保実業高等学校(長崎県佐世保市、中村浩校長)は、「自励」を校訓に生徒の楽しく充実した高校生活の実現に向けて多様な教育活動を展開する。「進路指導専門員」の浦郷昭彦教諭に進路ガイダンスの様子などをうかがった。

●次世代のリーダーを育成

佐世保実業高等学校は、産業界の趨勢を捉えた専門知識や技能などの学習を通して、時代に即応し地域に根差した産業人の育成を図っている。令和4年4月からは、プログラミング学習とオールイングリッシュ学習を中心とするSTEAM教育を展開。生徒の「未来を創造する力」を養い、課題を発見・解決する能力を備えたAI時代に適応する人材を輩出する。

普通科に加えて、「総合ビジネス学科」「情報エンジニアリング学科」「自動



令和8年4月に創立60年を迎える佐世保実業高等学校

車エンジニアリング学科」を構え、社会貢献活動や地域企業との協働など地域と連携し、実践的な学びを提供している。

普通科では、基礎科目の知識習得を通して、進学就職、そのいずれの進路でも活躍し得る人材を育成する。単位制システムを導入し、2年次から適性や希望進路に合わせてコース、科目を選択することが可能だ。特に探究学習では生徒の積極性やプレゼンテーション力などを伸ばしていくとの視点に立って、彼ら・彼女らの「やりたいこと」にフォーカスしていく。

総合ビジネス学科では、職場を想定したビジネスマナーやコンピュータスキルを身につける。2年次には、「マナー・サービス分野」や「情報分野」「経済分野

などから生徒が関心を寄せる分野を中心に学ぶ。コンピュータ演習や秘書実務の科目では、実社会で求められるスキルを幅広く習得できる。

情報エンジニアリング学科は、プログラミングを通じたロボット操作や3Dプリンターによるものづくりなどに関わる学びに特化している。2年次には、専門教科の基礎と共にSTEAMの授業で学習する「ITコース」、または自動車や機械構造などを深く学ぶ「エンジニアコース」の二つのコースから選択し、専門性をより高めていく。

自動車エンジニアリング学科は、3級自動車整備士を目指すカリキュラムを編成しており、業界の第一線で活躍するためのスキルを着実に身につける。令和7年3月末時点において、国土交通大臣指定一種自動車整備士養成校に認定された県内唯一の高校だ。自動

車整備の基礎から法規まで学び、陸運局の見学実習を行う。通常、3級自動車整備士国家試験の受験には実務経験が必須だが、同学科を卒業すれば、卒業と同時に受験資格を得られるため、最短での資格取得を目指すことができる。

●他校合同での就職イベント

佐世保実業高校では就職を希望する生徒と進学を希望する生徒それぞれに適した指導を行い、就職・進学の別を問わず生徒が希望する進路に対応。高い就職率と進学率を誇る。

資格の取得支援や面接指導に加え、地元企業と連携した意見交換会などの个性的な進路指導体制を敷いている。進路指導担当教員のほか、一般企業で会社員としてのキャリアを積んだ「進路指導専門員」が常駐し、面接指導や履歴書の添削、進路相談などあらゆる観点から生徒をサポートする体制を整えている。

3月11日、就職を希望する佐世保実業高校の1・2年次生と同市内に所在する私立高校3校の合同で進



生徒の多様な進路選択を支えるべくさまざまな進路行事を開催

路ガイダンスを実施した。中でも今回の企業説明会は、例年と異なり就職を希望する生徒が少ない高校と合同開催し、地元企業を中心に30社が集まる盛り上がりを見せた。他校の生徒と参加することで、企業の人事・採用担当者の話を聴く生徒の表情により緊張感が見られたという。

進路指導専門員の浦郷昭彦教諭は「1年次から2年次、2年次から3年次へと進級時のつながりを意識する指導で希望進路の実現につなげています」と、1・2年次の比較的早期から進路行事を実施することの目的を明らかにした。就職希望生徒に向けたガイダンスだけではなく、進路希望生徒向けの大学や専門学校の担当者による学校説明も合わせて実施。それぞれが将来を考える有意義な時間となったに違いない。

鹿児島県立鹿屋工業高等学校 現代社会で活躍する技術者の育成 「進路報告会」で本番の雰囲気を経験

●未来に生きる工業教育

鹿屋工業高校の創立は昭和19年。校歴はすでに80周年を越える地域密着の伝統校だ。現在は、「機械科」「土木科」「建築科」「電気科」「電子科」の5学科を設け、「君の今が未来を創る」をスローガンに、現代社会で活躍することができる中堅技術者の育成に力を注いでいる。

機械科は、機械設計や製図を中心とする専門技術の基礎

を学ぶ。実習や課題研究ではモノづくりの体験やコンピュータに関する内容も習得し、多方面で活躍できる土台を醸成する。

土木科は、鉄道やトンネル、上下水道などを作る仕事「土木」における計画から完成までを管理・監督の視点から学ぶ。

建築科は、設計や施工の業務に柔軟に対応することができる技術者の育成を目標に、建築物に関する知識

や技能を吸収していく。

電気科は、実習や課題研究を通して「電気基礎」「電気機器」「電力技術」について学ぶ。

在校中の目標として国家資格「第二種電気工事士」の取得が掲げられているのが特徴だ。

電子科は、電子工学の知識や技術を身につけるために電気基礎はもちろん、電子回路や通信技術、電子情報技術を重点的に学ぶ。

●先輩の等身大を見せる指導

鹿屋工業高校の進路指導は特徴的だ。今年1月、電気科で「進路報告会」が行われた。これは、就職活動を終えた3年次の生徒が後輩の1・2年次の前で公開模擬面接や就職活動における対策方法をまとめたプレゼンテーション、質疑応答を行うという趣旨のもの。先輩から後輩に向けて「就職活動の何たるか」を伝授する機会として位置づけられている。

志望動機や自己アピール、試験当日の雰囲気などが披露される流れの中で伝えられる臨場感あふれる描



電気科3年次の生徒によるプレゼンテーション

写は、就職活動を控えた1・2年次生にとって恐らく「生きた教材」となったに違いない。

令和8年2月時点で卒業後の進路が決定した卒業予定者185人のうち、就職者は116人と、半数を超えた。鹿屋工業高校は今後も専門技術を深く学び、社会に貢献できる有為な人材を輩出していく。

Nishitetsu 西日本鉄道株式会社

「しつじつにできないまちづくりがここにあり!」

●基幹事業 モビリティ事業・不動産事業・流通事業・国際物流事業
●設立 1908年(明治41年)
●資本金 261億5,729万円
●従業員数 4,586人

会社の強み・社風
当社は、福岡を中心に、鉄道・バスなど幅広い事業を展開する会社です。「まちに、夢を描こう」という企業メッセージを掲げ、地域と共に歩み、共に発展していくことを目指しています。

〒810-0001 福岡市中央区天神1-11-1
TEL 092-734-1341(バス) / 092-734-1507(鉄道)
URL https://www.nishitetsu.co.jp/ja/index.html

日鉄環境エネルギーサービス

「限りある資源を未来につなげる」

●基幹事業 廃棄物の処理施設・資源化施設などの環境施設の運転
●設立 1994年(平成6年)
●資本金 50,000,000円
●従業員数 約2,000人

会社の強み・社風
限りある資源を未来へつなぐために、資源循環の仕組みをつくり、持続可能な社会を実現することを目指しています。工業系出身の方はもちろんのこと、文系出身の方も当社の充実した教育体制のもと、資格取得やスキル向上に励んでいます。

〒804-0002 北九州市戸畑区大字中原46-59
TEL 093-588-7361
URL https://www.nses.nipponsteel.com

富士岐工産株式会社

「誠実」「安全」「品質」をモットーに

●基幹事業 各種溶射・肉盛溶接・同溶接・各種プラント設計・製作
●設立 1959年(昭和34年)
●資本金 98,000,000円
●従業員数 420人

会社の強み・社風
当社は、製鉄所の機械メンテナンスや関連工事を手がけるメーカーとして誕生し、創業以来さまざまな分野でのモノづくりを支え、モノづくりの第一線で活躍の場を拡大しています。日本の「鉄」づくりの魅力を誇りに感じています。

〒807-0801 北九州市八幡西区本城4-8-16
TEL 093-602-8670
URL https://www.fjk-kk.co.jp

山崎プラント株式会社

未来が造られる場所を、創る。

●基幹事業 プラント設備関連の設計・施工・メンテナンス、エレベーター設置工事
●設立 1967年(昭和42年)
●資本金 30,000,000円
●従業員数 119人

会社の強み・社風
私たちは、製鉄をはじめ、石油・化学・電力など各種プラント設備の企画・設計から施工・メンテナンスに実際に技術を身につけられる教育体制が整っており、将来性と安定性のある職場です。

〒837-0904 福岡県大牟田市大字吉野1615
TEL 0944-41-3535
URL https://yamasaki-plant.co.jp/

ワタキューセイモア 九州支店

医療・観光業界を支える縁の下の力持ち

●基幹事業 医療用寝具等の販売・医療用業務用品の販売・客室備品マネジメント
●設立 1962年(昭和37年)
●資本金 48,500,000円
●従業員数 20,078人

会社の強み・社風
当社は、病院・介護施設およびホテルでシェアトップクラスの寝具リース事業を展開しています。社福厚生も充実し、会社生活に満足していただいています。感謝の気持ちと謙虚な姿勢が年間休日122日というモチベーションです。

〒845-8506 佐賀県小城市小町227-2
TEL 0952-72-5111
URL https://www.watakyu.co.jp/corporate/gaiyo

韓国の教育トピックス vol.10

日本&韓国 若者間の相互理解が活発に

依然として高い韓国の日本語学習熱 日本留学フェアに800人超が来場

地政学的にも極めて近い隣国として、経済・文化・芸術・スポーツ等の幅広い分野で日本と交流が続いてきた大韓民国(韓国)。特に若者間では相互の文化交流が活発で、音楽や映画等の文化やエンターテインメントでファンの裾野が国境を越えて広がることも珍しくはない。

本稿では、韓国の教育制度や日本語学習事情等にふれるほか、4月11・12日、現地2都市で開催された「日本留学フェア in 韓国」の様子をレポートする。

日本語学習者数は約55万人 世界の国・地域別で第3位

国際交流基金(本部東京・新宿区)によると、韓国は初等教育(初等学校)が6年間、中学校が3年間、高等学校が3年間、大学校(日本の「大学」に相当)が4年間の「6-3-3-4制度」となっている。このうち、初等学校・中学校の9年間は義務教育だ。初等学校では3年次から英語が正規授業として取り入れられており、中学校・高校では、選択科目の「第二外国語」の一つとして日本語教育が実

施されている。

同基金が本年3月26日に公表した『2024年度「海外日本語教育機関調査」報告書』によると、韓国における日本語学習者は24年度時点で55万5,396人。21年度実施の前回調査と比べると、8万5,062人(18.1%)増加し、世界の国・地域別では第3位を維持した。

学習者数の増加にはさまざまな要因が考えられるが、最も有力なのは、高校における日本語履修希望者の増加であるという。これは単純な日本文化・日本語

の人気だけではなく、8言語から選択可能な第二外国語の中で、これまで日本語と人気を二分していた中国語を選択する希望者数が大きく減少したことが背景の一つであると、同基金は分析している。

韓国の日本語学習者の特徴の一つは、学習者全体の約7割を中学生・高校生が占めている点だろう。世界的傾向として認められるのと同様、韓国でもアニメーションや漫画を中心とする日本文化の人気は根強く、その興味・関心から日本語を学ぶ学習者は相当数いるのではないかと類推される。近年ではSNSでの動画視聴などを通して独学で日本語を学ぶ人も多いようだ。また、地理的に近いことから気軽に日本旅行を楽しむ韓国人が多く、旅行目的で日本語を学ぶ学習者も多くいると、同基金は言及している。

このほか、学校教育以外での日本語学習者は24年度時点で11万7,351人が報告されており、21年度調査と比べて、5万19人(74.3%)と大幅に増加した。これは、新型コロナ禍によって閉鎖を余儀なくされた多くの学習塾が日本語教育を再開したことが背景にあると考えられる。

韓国・浦項市から高校生が来日 若い世代を中心に交流活性化

日本と韓国の高校との交流に関するトピックとして、本年1月26日から29日までの四日間、韓国の浦項市の高校生が新潟県上越市を訪れたことを紹介しておこう。

日本の上越市と韓国の浦項市は、1996年に産業・文化・スポーツ等幅広い分野での交流を促進するため「国際経済・文化交流共同宣言」に調印し、以来、友好関係を深めてきた。浦項市の高校生が新潟の地を踏むのは2年ぶりとなり、同市内の複数の高校から1年次生と2年次生の合計20人が参加した。出迎えたのは、上越市内に所在する高

4/11 釜山会場



釜山会場の来場者と直接面談する日本の教育機関の担当者



来場者は日本への留学意欲が高く、担当者の話に熱心に耳を傾ける

校の有志約20人で、まずは学校行事や観光などを動画で紹介した後、茶道や書道といった日本の文化体験でもてなした。浦項市の高校生の中には簡単な日本語ができる生徒が多く、会話を弾ませながら和気あいあいと楽しむ姿が見られた。滞在期間中は一般家庭でホームステイし、市内観光や異文化体験を通して、相互理解を深める貴重な機会となったようだ。

このほか、2025年は日韓国交正常化60周年の節目に当たり、日韓両政府が認定する「日韓国交正常化60周年記念事業」が多彩に展開された。この年の1月から12月までに実施された事業数は500件を超え、特に若い世代を中心に日韓の交流が盛り上がりを見せた。60周年という節目に生まれた交流を機に、今後も日韓両国の相互理解が深まることを期待したい。

釜山とソウルの2都市開催 「日本留学フェア in 韓国」

進路情報研究センター・ライセンスアカデミー(本社東京・新宿区)は去る4月11・12日の二日間にわたって、韓国現地の日本留学希望者を対象とする「日本留学フェア in 韓国」を開催した。会場では参加校ごとにブースを設置し、希望者が自由に各ブースを訪問する個別面談形式で進化した(後援:日本国際交流基金ソウル日本文化センター、釜山韓日文化交流協会、

韓国日本語教育研究会)。

初日となった11日、BEXCO(韓国・釜山広域市)第1展示場2階において開かれたフェアには、のべ345人が詰めかけた。日本からは大学や専門学校、企業等が多数参加してブースを出展した。

翌12日、スペースシェア三成駅センター(韓国・ソウル特別市)で開催されたソウル会場には、のべ512人にもおよぶ参加があった。日本学生支援機構(JASSO、本部・横浜市)韓国事務所が参加協力し、フェア参加者から日本就職に関する質問を受けつけると、相談待ちの行列ができるほどの活況を呈した。

日本留学フェアは毎年開催されており、来場者数は右肩上がりに伸びている人気イベントだ。参加団体も増加し、今回は多様な職業分野に関する大学・専門学校等の参加が多く、日本社会での就労を考える韓国の若者にとって、将来の可能性を広げる絶好の機会となったようだ。

韓国では、特に新規学卒者の就職難が深刻化していると指摘されており、日本就職に対する関心が高まると共に、早期留学を検討する者も多いという。当日は、留学・就職を希望する生徒本人だけではなく、同行した保護者も一緒になって熱心に説明を受ける様子が見受けられ、会場は終始熱気に包まれていた。なお、同フェアは夏の時期、7月11・12日にも開催が予定され、期待が高まっている。

4/12 ソウル会場

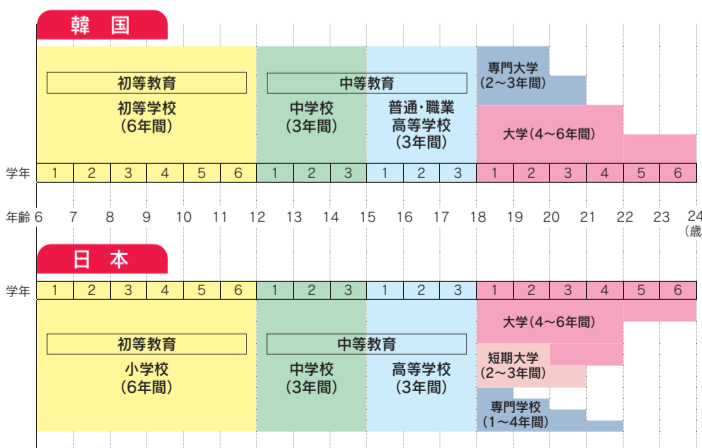


和やかな雰囲気の中、積極的な質疑応答が交わされた



会場は日本留学に関する最新情報を求める参加者でにぎわった

日本・韓国の学校教育制度(概略)



*外務省・文部科学省の発表資料などをもとに編集部で作成。いずれも複数存在する学校系統・ルートの中から代表的なものを抜粋しているため、修業年限や接続の仕方など、これによらないものもある。また、所定の学校卒業・修了、指定単位の修得等を基礎資格として実現する他の学校等への編入学については基本的に割愛。なお、海外諸国・地域に関しては、現地の制度変更等により、ここに示す情報と最新の状況が異なる可能性がある。